

令和 8 年度
合否判定の方法及び基準
【経営学部】

対象入試制度

令和 8 年度 特別推薦編入学試験

1. 試験内容

「書類審査」「口頭試問」

書類審査では、卒業見込証明書や在学証明書、成績証明書で出願資格を充足するかを確認したうえで、志望理由書により、しっかり自分の意見が述べられているかを確認した。

約10分間の口頭試問では、2名の面接担当教員が1名の受験生に対して、事前に提出された志望理由書などにより、本学部への入学意欲や将来のキャリアの見通しや目標について、自分の言葉で説明してもらった。

2. 合否判定の方法と基準

成績証明書、志望理由書、口頭試問の内容から、総合的に判断した。

本学部のアドミッションポリシーに沿って、次のような人物像に合致しているかどうかという点を中心に評価した。

- ・ 未知の領域に挑戦し、知識や技能をビジネスに活かす高い意欲を持つ人物か
- ・ 学びへの努力を惜しまず、社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人物か
- ・ 活躍の場を広く求め、コミュニケーション能力の向上に積極的に取り組むことができる人物か